



# 「安心をデザインする」

革新的防犯環境設計サービスのご提案

犯罪予防 × コスト削減 × 地域価値向上

40年の警備実績と最新テクノロジーの融合で  
地域に根差した本当の意味での防犯環境設計

# サービスへの想い

新たな警備の形で安心をカタチに。



警備



設計

Why?

## 警備業界 **40** 年の経験と実績

茨城警備保障は、1号業務（施設警備）・2号業務（雑踏・交通誘導警備）を中心に警備業界に携わってきました。今後は、40年間で培ったノウハウや経験を発展させ、さらなる地域社会への貢献を目指しています。その中で、これまでの警備サービスでは実現できなかった価値（防犯環境設計）を開発し、新たな付加価値で社会を支えていくことが最初のミッションです。

## 元建築士としての経験と実力

代表取締役の宮田は、長年にわたって建築士として渋谷再開発や羽田空港でのプロジェクトに携わってきました。設計のプロとしての強みとテクノロジーの急速な発達を最大限に生かすことのできる「防犯環境設計」こそが、警備業界の発展に不可欠であると考えています。少子高齢化の今こそ、時代のカタチに合わせて「安心をデザインする」ことが求められています。

# サービスの背景と意義

## 社会的背景



### 犯罪の多様化・巧妙化

新たな手法による犯罪が増加し、従来の警備だけでは対応が困難になっています。



### 人口減少と高齢化

地域の防犯力が低下し、見守りの目が減少しています。



### 人的リソース不足

自治体・企業の防犯体制が脆弱化し、効率的な対策が求められています。

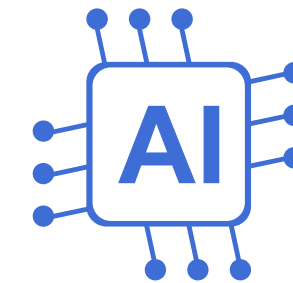
## コンセプト

### 「安心をデザインする、データ活用型防犯環境設計」

40年以上の警備ノウハウと最新テクノロジーを融合し、科学的アプローチによる効果の高い防犯対策を実現します。



警備ノウハウ



最新テクノロジー



安全な環境設計

## 価値提供



### 犯罪の予防効果向上

防犯環境設計による犯罪抑止



### 人件費削減

スマート技術による警備の効率化



### 保険費用削減

効果的な防犯対策による保険料低減



### 地域価値の向上

安心・安全な環境づくりによる活性化

# 防犯環境設計とは

防犯環境設計（CPTED）とは、人的な防犯活動（ソフト面）とあわせて、建物・道路・公園等の物理的な環境（ハード面）の整備・強化等を行い、**犯罪の起きにくい環境**を形成するという考え方。

**CPTED：Crime Prevention Through Environmental Design**

※警視庁「防犯環境設計」による防犯対策 より



宿泊・商業施設やビルの灯りがあるだけで周辺も明るくなり、安心感が生まれるだけでなく犯罪者の心理的抑制を誘発できる。



## 防犯環境設計の導入事例

### ゲートッド・コミュニティ

住宅地全体を高い塀などで囲い、エリアの出入り口を絞ることで（場合によってはここに警備員がいる）、侵入の機会を減らすことができる。また、囲われたエリア内のコミュニティ意識が高まり、見守りなどの防犯監視機能を高めることに繋がる。



アメリカやブラジルなどの格差の激しい国では、富裕層が住むエリアの犯罪抑止策として取り入れられている。

例) ワンハンドレッドヒルズ（千葉県）

赤阪米軍住宅地

六本木ヒルズ居住棟 など

※ARUCOM「第13回『ゲートッド・コミュニティ』」より

### ビューティフル・ウィンドウズ運動

（東京都足立区や京都市など）

#### お店の前に花壇を設置

子どもたちの通学時間に合わせて水やり（手入れ）をすることで、見守りの役割も果たすことができる。照明装置との組み合わせにより、夜間でも雰囲気を含めた明るさを維持することができる。

#### 商店街にシャッターアート

アートが施されたシャッターは目立つため防犯カメラとセットで導入することで、不審者の侵入意欲を大幅に削ぐことができる。また、いたずらによる落書きが減り、犯罪を起こしにくい雰囲気をつくることができる。

※足立区「ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中！」より

# 防犯環境設計の4つの基本原則と最新アプローチ

01



## 監視性の確保

防犯カメラや照明で見通しを改善し、視覚的に侵入しづらい環境を作ります

### 最新アプローチ

AI防犯カメラ

スマート街路灯

行動検知センサー

02



## 接近の防御

塀や柵、オートロックシステムなどにより、建物への接近を制限します

### 最新アプローチ

顔認証入退管理

ICカードゲート

スマホ認証

03



## 領域性の確保

コミュニティ形成や警備の実施により、心理的な侵入抑止を実現します

### 最新アプローチ

住民参加型防犯アプリ

情報級プラットフォーム

地域安全マップ

04



## 対象物の強化

鍵や扉、ガラスなどの対象物を物理的に強化し、侵入犯罪を防止します

### 最新アプローチ

IoTセンサー警報システム

スマートロック

生体認証



## 茨城警備保障のアプローチ

40年の警備実績と最新テクノロジーを組み合わせ、4つの原則を効果的に統合した総合的な防犯環境設計を提供します。



# 革新的な防犯環境設計サービス

## A. スマート防犯環境分析・設計サービス



### データ分析に基づく防犯環境設計

犯罪データと環境要因の分析により効果的な対策をご提案

#### 具体例：

商業施設向け導線分析

住宅地コミュニティ形成

公共施設の空間最適化

GIS（地理情報システム）を活用した犯罪ホットスポット分析と自然監視性の向上設計により、死角を排除し安全な環境を構築します。

## B. スマート街路灯・防犯照明システム



### 高機能照明による防犯と省エネの両立

センサー連動型の明るさ制御で効果的な防犯環境を実現

#### 具体例：

商店街活性化モデル

シャッター街再生モデル

公園安全化モデル

エネルギー効率の高いLED照明とセンサー技術を組み合わせ、人の動きに応じた適切な照明環境を提供し、防犯効果と省エネを両立します。

複数のサービスを組み合わせることで高いシナジー効果を発揮し、より総合的な防犯対策を実現できます。

## C. AIカメラ・センサー統合監視システム



### AI技術による異常検知と予防

不審行動を自動検出し、事件・事故を未然に防止

#### 具体例：

商店街安全見守り

高齢者見守りシステム

駐車場安全管理

エッジAI搭載カメラによるリアルタイム異常検知で、プライバシーに配慮しながら即時の対応を可能にし、効果的な防犯を実現します。

## D. 地域連携型防犯プラットフォーム



### 情報共有による地域防犯力の強化

住民・自治体・警備会社の連携で総合的な安全を実現

#### 具体例：

自治体連携モデル

コミュニティ強化モデル

観光地安全向上

クラウド上の情報共有プラットフォームにより、住民参加型の防犯ネットワークを構築し、地域全体の安全意識と防犯力を高めます。

# 実際の導入効果



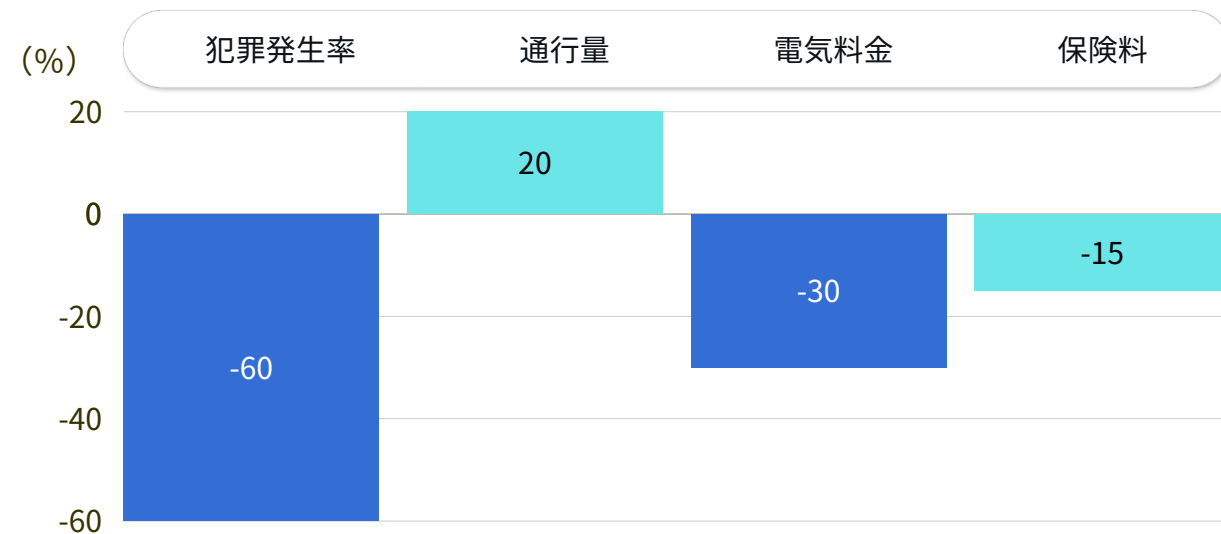
パターン①

## 商店街の証明デザインによる防犯と活性化

夜間の人通りが少なく、空き店舗が目立つ茨城県内の商店街での取り組み

### 導入施策

- ✔ スマートLED街路灯（人感センサー連動型）の設置
- ✔ 店舗ファザードの照明デザイン改善
- ✔ 死角となっていた路地へのセンサーライトの設置
- ✔ AIカメラ3台の戦略的設置



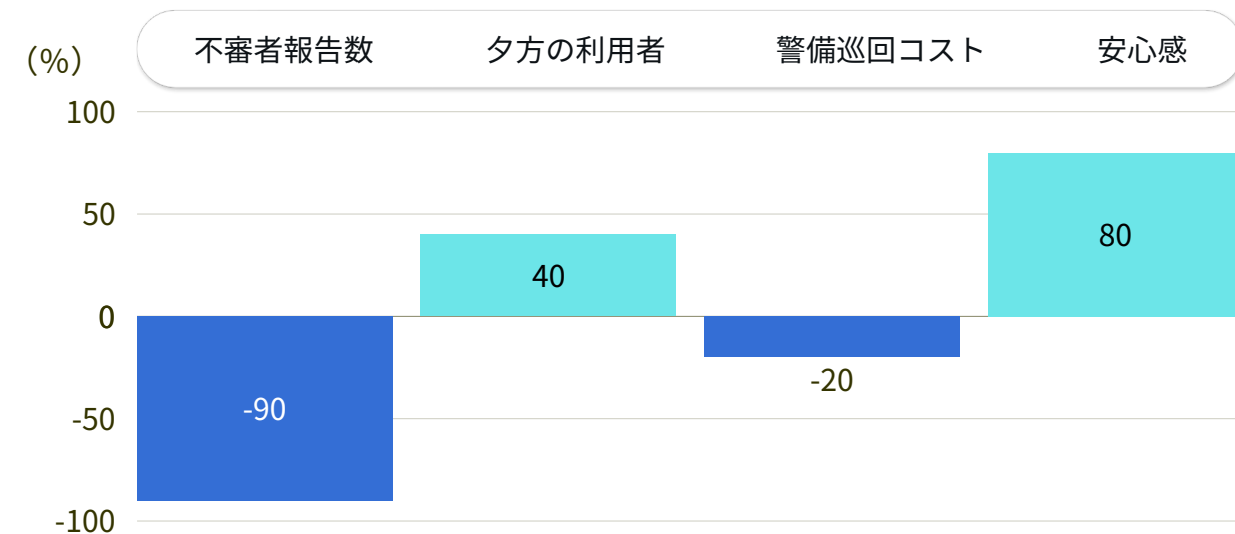
パターン②

## 公園の安全性向上プロジェクト

不安の声が多く、夕方以降の利用を避ける市民が増加していた公園での取り組み

### 導入施策

- ✔ 植栽の見直しによる視認性向上
- ✔ スマート照明による夜間の適切な明るさを確保
- ✔ 異常行動検知AIカメラの設置
- ✔ コミュニティ活動促進のための環境整備



## 期待される効果



### 犯罪予防効果

犯罪発生率の低減と安心感の向上



### 人件費削減効果

警備員の効率的配置による人的コスト最適化



### 保険費用削減効果

盗難保険料の見直しとリスク評価向上

# 自治体向けご提案

## 「安心・安全スマートシティ構想」



### 概要

自治体と連携し、防犯環境設計の視点を都市計画に組み込む包括的なまちづくりのご提案。データ活用型の防犯対策による効果的な資源分配を実現します。



### スマート街路灯の ネットワーク構築

- ✓ 省エネLED照明による維持費削減
- ✓ センサー連動型照明制御
- ✓ AIカメラ・環境センサー統合



### 地域安全データの プラットフォーム化

- ✓ 犯罪・事故データと環境要因の分析
- ✓ 防犯対策効果の可視化と改善
- ✓ 住民参加型の情報収集・活用



### 防犯環境設計 ガイドライン

- ✓ 地域特性に応じた設計指針
- ✓ 既存環境の段階的改善計画
- ✓ 新規開発における防犯基準策定

## 導入メリット



### 自治体にとってのメリット

- ・ 治安維持コストの削減
- ・ 市民満足度の向上
- ・ 行政サービスの高度化
- ・ 環境負荷低減



### 住民にとってのメリット

- ・ 犯罪リスク低減
- ・ コミュニティの結束強化
- ・ 地域の価値向上
- ・ 安心した生活環境



### 地域経済へのメリット

- ・ 商用活動の活性化
- ・ 新規出店、投資の促進
- ・ 雇用創出
- ・ 観光客増加の可能性



### 提携実績

茨城県内の複数自治体と協力し、地域特性に合わせた防犯環境設計で成功事例を構築しています。地域の安全・安心づくりは茨城警備保障にお任せください。

# サービスの導入フロー

01

現状分析・ニーズ調査



犯罪データの収集・分析と現地環境調査を実施します。お客様や関係者へのヒアリングを通じて、具体的なニーズや課題を明確にします。

02

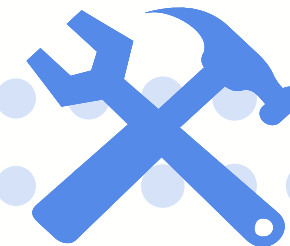
防犯環境設計案作成



リスク評価に基づいて対策の優先順位を付け、予算に応じた段階的な実施計画を作成します。最適なテクノロジー導入計画もご提案いたします。

03

実施・施工



物理的環境の改善やシステム・機器の導入を行います。施工後は関係者向けにシステムの使用方法や運用についてトレーニングを実施します。

04

効果測定・改善



データ収集・分析による効果検証を行い、課題への対応策を検討します。PDCAサイクルに基づいた継続的な改善を行います。



## 茨城警備保障の導入フローの特徴



警備のプロによる専門的な視点



データに基づく科学的アプローチ



継続的な改善と効果の検証

# 茨城警備保障が提供する価値



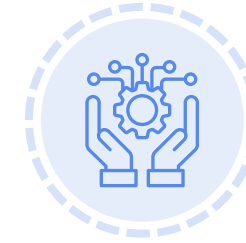
## 40年の実績と地域密着の信頼

茨城県内で培った豊富な警備経験と地域に根差したネットワークを活かし、地域特性に合わせたきめ細やかな防犯環境設計を提供します。

地域特性への理解

実績に基づくご提案

地域ネットワーク



## 最新テクノロジーとノウハウの融合

従来の物理的な防犯対策とデジタル技術を融合させ、より効果的・効率的なソリューションを実現します。

AI技術活用

IoT連携

データ分析



## ワンストップソリューション

調査・分析から設計・実装、運用・改善までの一貫したサービスにより、お客様の負担を最小化します。

調査・分析

設計・実績

運用・改善



## データに基づく継続的改善

導入後も定期的な効果検証と改善を行い、変化する犯罪傾向や環境に対応した最適な防犯環境を維持します。

効果測定

要因分析

柔軟な対応



「地域に根差した警備会社として培った信頼と実績をもとに、新たな時代の安心・安全をデザインする企業へと進化します」



— 宮田奈津子 代表取締役

# まとめと展望

## 防犯環境設計事業のビジョン

茨城警備保障の防犯環境設計事業は、単なる物理的な防犯対策にとどまらず、最新テクノロジーとデータ分析を活用した包括的なアプローチで、本当の意味での安心・安全な環境づくりを実現します。犯罪予防、人件費削減、保険費用削減、地域価値向上という多面的な価値を提供することで、お客様と社会全体に貢献します。

## 主要ポイントのまとめ



### 科学的防犯環境設計

40年の警備のノウハウとデータ分析を融合した防犯対策



### スマートテクノロジーの活用

AIカメラ、スマート街路灯など先進技術の効果的導入



### コミュニティ連携

住民・自治体と連携した総合的な防犯体制の構築

## 期待される効果



### 犯罪発生率の低減

事例では最大90%の犯罪・不審者情報の抑制を実現



### コスト削減効果

人件費約25%削減、保険料約15%削減などの経済的メリット



### 地域活性化

安心・安全な環境による地域価値向上と経済活性化

## 今後の展望



### サービス領域の拡大

防犯環境設計のノウハウを活かし、防災や高齢者見守りなど関連分野へのサービスの拡大



### 自治体連携の強化

スマートシティ構想との連携を深め、より広域な地域の安全・安心づくりへの貢献



### 技術革新への対応

AI・IoT技術の変化に対応し、より高度で効率的な防犯ソリューションの開発

# お問い合わせ

## 会社概要

会社名	茨城警備保障株式会社
設立	1983年6月
代表	宮田 奈津子
所在地	茨城県水戸市河和田町4405-84
資本金	1,900万円
取引銀行	常陽銀行 本店 水戸信用金庫 大工町支店 つくば銀行 大工町支店
補償担当会社	常陽保険サービス株式会社
業務提携会社	セントラル警備保障株式会社 千葉支社 新安全警備保障株式会社
認定等機関	警備業



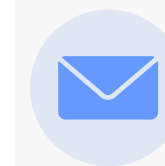
## 警備・防犯について お気軽にご相談ください

茨城警備保障では、お客様の環境に合わせた最適な防犯対策をご提案いたします。  
まずはお気軽にお問い合わせください。



お電話でのお問い合わせ

**029-246-5570**



メールでのお問い合わせ

**info@ibakei.co.jp**